

大阪市立大学大学院経済学研究科

経済格差研究センター研究員

大西 祥 恵

表1 問1 年齢はおいくつですか

	人数	割合
20歳未満	0	0.0
20-24歳	0	0.0
25-29歳	1	1.6
30-34歳	0	0.0
35-39歳	6	9.8
40-44歳	4	6.6
45-49歳	8	13.1
50-54歳	15	24.6
55-59歳	13	21.3
60-64歳	11	18.0
65-69歳	3	4.9
70-74歳	0	0.0
75歳以上	0	0.0
有効回答者数	61	100.0
不明	0	
合計	61	

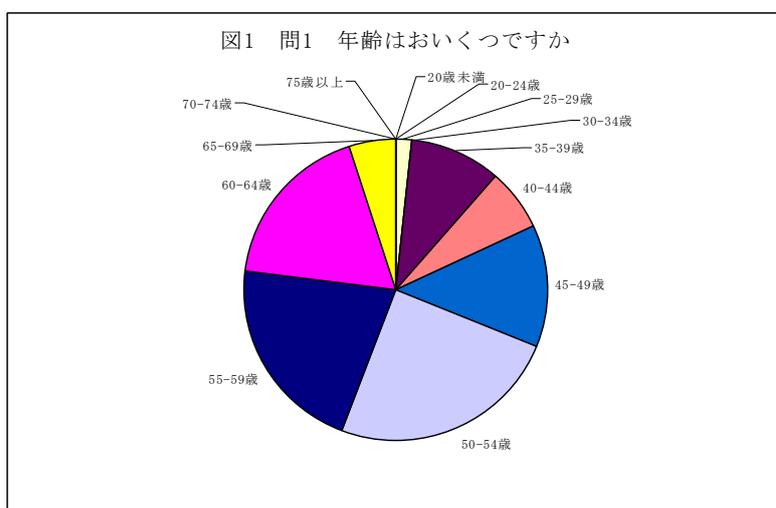
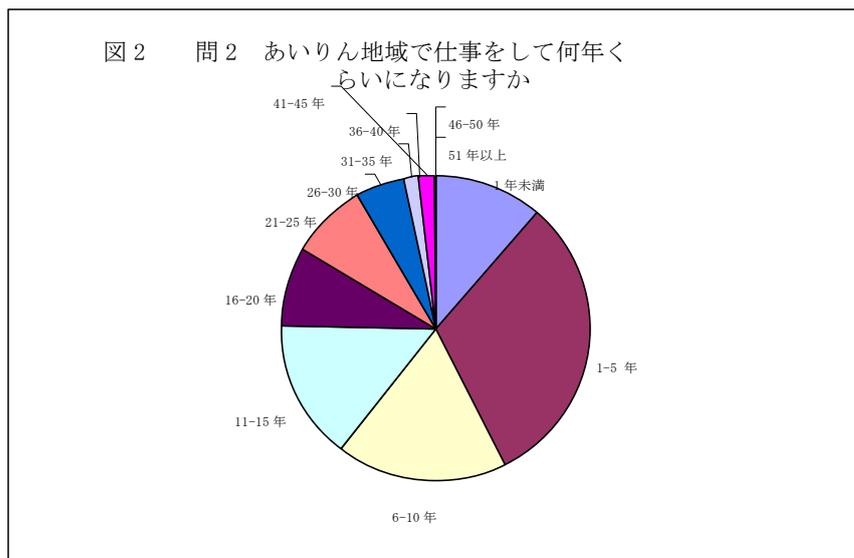


表 1、図 1 は、年齢についてみたものである。最も多かったのは「50-54 歳」で 15 人 (24.6%)、次いで「55-59 歳」と「60-64 歳」が多くなっており、それぞれ 13 人 (21.3%)、11 人 (18.0%) となっている。50 歳代から 60 歳代前半を合計すると、6 割を超えている。ただし、「45-49 歳」、「35-39 歳」と回答した者も 8 人 (13.1%)、6 人 (9.8%) となっており、比較的年齢の若い者も一定数みられる。

表 2 問 2 あいりん地域で仕事をして  
何年くらいになりますか

	人数	割合
1 年未満	7	11.5
1-5 年	19	31.1
6-10 年	11	18.0
11-15 年	9	14.8
16-20 年	5	8.2
21-25 年	5	8.2
26-30 年	3	4.9
31-35 年	1	1.6
36-40 年	0	0.0
41-45 年	1	1.6
46-50 年	0	0.0
51 年以上	0	0.0
有効回答者数	61	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	61	



あいりん地域で仕事をして何年くらいになるかを問うたところ、最も多かったのは「1-5年」で、19人(31.1%)と3割を超えている(表2、図2)。また、「6-10年」が11人(18.0%)、「11-15年」が9人(14.8%)、「1年未満」が7人(11.5%)となっている。つまり、15年以下の者を合計すると、7割5分を超えていることがわかる。

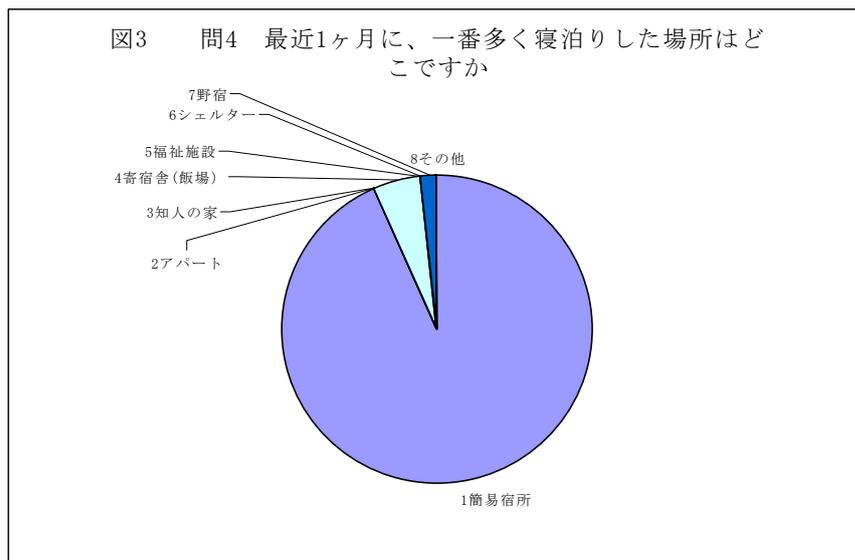
表3 問3 現在、住んでいるのは、  
あいりん地域内ですか

	人数	割合
はい	61	100.0
いいえ	0	0.0
有効回答者数	61	100.0
不明	0	
合計	61	

表3は、現在住んでいるのはあいりん地域内かを聞いた結果である。全員が「はい」と回答している。この調査が簡易宿泊所で実施されたことを反映しているものと考えられる。

表4 問4 最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りしたのはどこですか

	人数	割合
1 簡易宿泊所	57	93.4
2 アパート	0	0.0
3 知人の家	0	0.0
4 寄宿舍(飯場)	3	4.9
5 福祉施設	0	0.0
6 シェルター	0	0.0
7 野宿	1	1.6
8 その他	0	0.0
有効回答者数	61	100.0
不明	0	
合計	61	



最近1ヶ月に、一番多く寝泊りした場所を問うたところ、最も多かったのが「簡易宿泊所」で57人(93.4%)となっており、9割を超えている(表4、図3)。また、「寄宿舍(飯場)」と回答した者が3人、「野宿」と回答した者が1人みられる。

表 5 問 5 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っていますか

	人数	割合
1 持っている	14	23.0
2 以前は持っていたが、今は持っていない	15	24.6
3 作ったことがない	32	52.5
有効回答者数	61	100.0
不明	0	
合計	61	

図4 問5 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っていますか

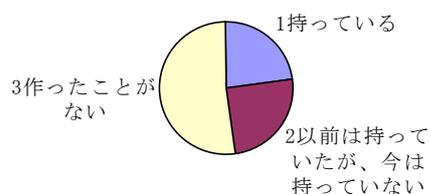


表 5、図 4 は日雇雇用保険手帳（白手帳）の所持について聞いた結果を示したものである。「作ったことがない」と回答した者が最も多く 32 人（52.5%）と過半数に上っている。また、「以前は持っていたが、今は持っていない」、「持っている」と回答した者もそれぞれ 15 人（24.6%）、14 人（23.0%）と約 4 分の 1 を占めている。

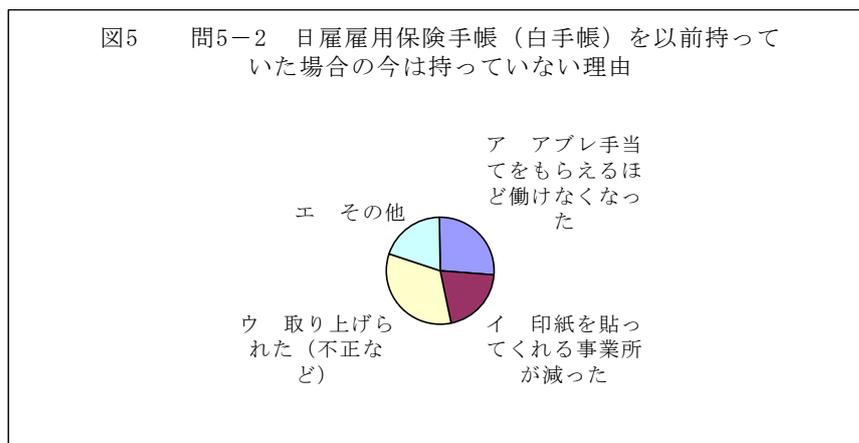
表 6 問 5-1 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っている場合の今月の認定資格

	人数	割合
有	10	71.4
無	4	28.6
有効回答者数	14	100.0
不明	0	
非該当	47	
合計	61	

日雇雇用保険手帳（白手帳）を所持していると回答した者に、今月の認定資格の有無を聞いたところ、「有」と回答した者が 10 人（71.4%）、「無」と回答した者が 4 人（28.6%）となっている（表 6）。今月の認定資格のある者が 7 割を超えていることがわかる。

表 7 問 5-2 日雇雇用保険手帳（白手帳）を以前持っていた場合の今は持っていない理由

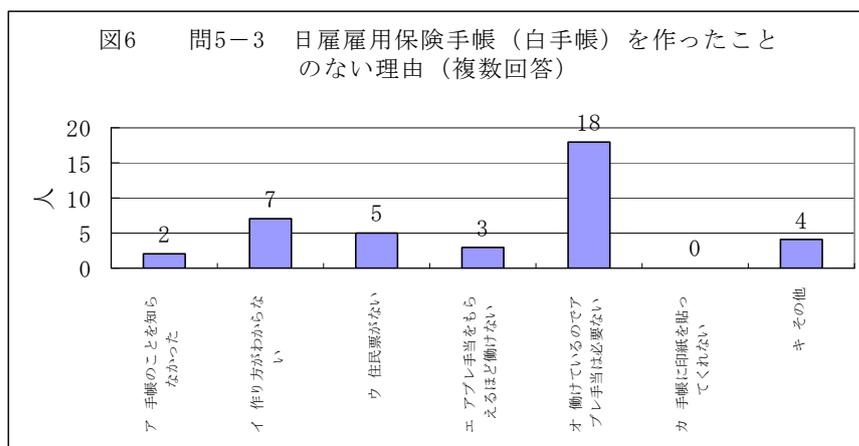
	人数	割合
ア アブレ手当をもらえるほど働けなくなった	4	26.7
イ 印紙を貼ってくれる事業所が減った	3	20.0
ウ 取り上げられた（不正など）	5	33.3
エ その他	3	20.0
有効回答者数	15	100.0
不明	0	
非該当	46	
合計	61	



日雇雇用保険手帳（白手帳）を以前持っていた者に、今は持っていない理由を聞いたところ、「取り上げられた（不正など）」と回答した者が 5 人で 3 割強を占めている（表 7、図 5）。また、「アブレ手当をもらえるほど働けなくなった」、「印紙を貼ってくれる事業所が減った」、「その他」と回答した者もそれぞれ 4 人（26.7%）、3 人（20.0%）、3 人（20.0%）みられ、各々 2 割以上を占めていることがわかる。

表 8 問 5-3 日雇雇用保険手帳(白手帳)を作ったことのない理由  
(複数回答)

	人数	割合
ア 手帳のことを知らなかった	2	6.3
イ 作り方がわからない	7	21.9
ウ 住民票がない	5	15.6
エ アブレ手当をもらえるほど働けない	3	9.4
オ 働けているのでアブレ手当は必要ない	18	56.3
カ 手帳に印紙を貼ってくれない	0	0.0
キ その他	4	12.5
有効回答数	39	121.9
有効回答者数	32	
不明	0	
非該当	29	
合計	61	



日雇雇用保険手帳(白手帳)を作ったことがないと回答した者に対して、作ったことのない理由を問うた結果が表 8、図 6 である。「働けているのでアブレ手当では必要ない」と回答した者が突出して多く、18人(56.3%)と半数を超えている。また、「作り方がわからない」と回答した者も7人(21.9%)と一定数を占めている。

表 9 問 6-1 日雇健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	6	9.8
無	55	90.2
有効回答者数	61	100.0
不明	0	
合計	61	

表 10 問 6-2 建退共手帳に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	4	6.6
無	57	93.4
有効回答者数	61	100.0
不明	0	
合計	61	

表 11 問 6-3 国民健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	20	32.8
無	41	67.2
有効回答者数	61	100.0
不明	0	
合計	61	

表 12 問 6-4 国民年金に加入していますか。(現在)

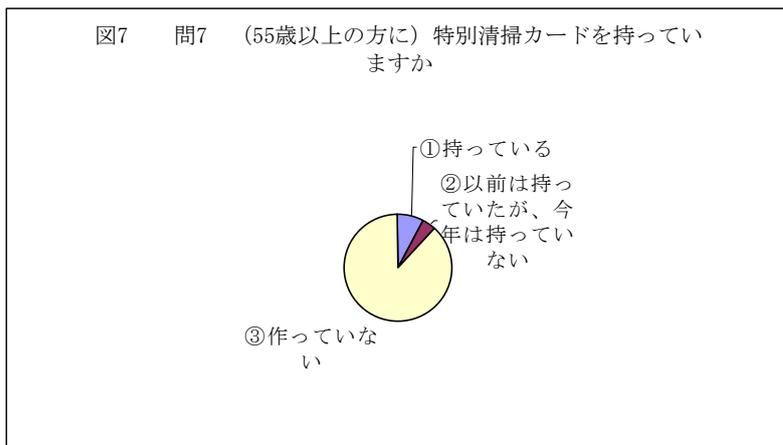
	人数	割合
有	6	9.8
無	55	90.2
有効回答者数	61	100.0
不明	0	
合計	61	

問 6 では、日雇健康保険、建退共手帳、国民健康保険、国民年金への加入状況について質問している(表 9~12)。まず、日雇健康保険については、加入していないの方が 55 人(90.2%)で 9 割を超えている。同様に、建退共手帳については加入していない者が

57人（93.4%）となっており、9割以上が加入していない。また、国民健康保険については、加入している者が20人（32.8%）で加入していない者の方が多いものの、加入者が3割を超えている。さらに、国民年金については加入していない者が55人（90.2%）となっており、9割以上が加入していない。

表 13 問 7（55歳以上の方に）特別清掃カードを持っていますか

	人数	割合
①持っている	2	8.0
②以前は持っていたが、今年を持っていない	1	4.0
③作っていない	22	88.0
有効回答者数	25	100.0
不明	2	
非該当	34	
合計	61	



55歳以上の者に対して、特別清掃カードを有しているかどうかについて聞いたところ、「作っていない」と回答した者が22人（88.0%）で9割近くとなっており、圧倒的多数を占めている（表13、図7）。

表 14 問 7-1 特別清掃カードを持っている方の輪番への参加状況

	人数	割合
ア いつも来る	1	50.0
イ たまに	1	50.0
ウ めったに来ない	0	0.0
その他	0	0.0
有効回答者数	2	100.0
不明	0	
非該当	59	
合計	61	

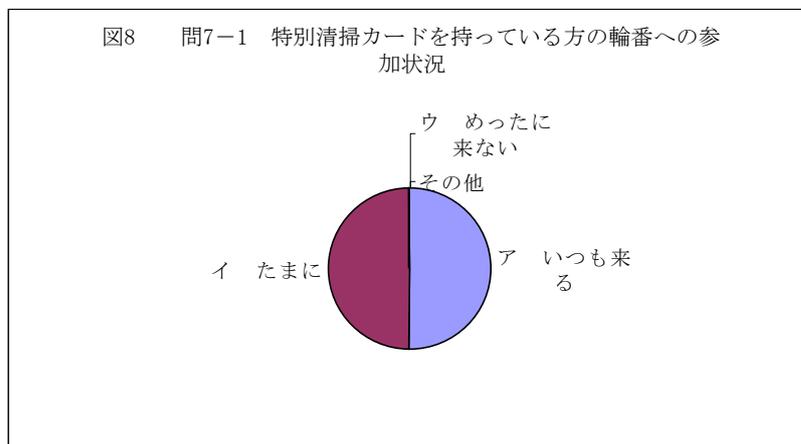


表 14、図 8 は、特別清掃カードを持っていると回答した 2 人に対して、輪番への参加状況を聞いた結果である。これによると、「いつも来る」と回答した者が 1 人、「たまに」と回答した者が 1 人となっていることがわかる。

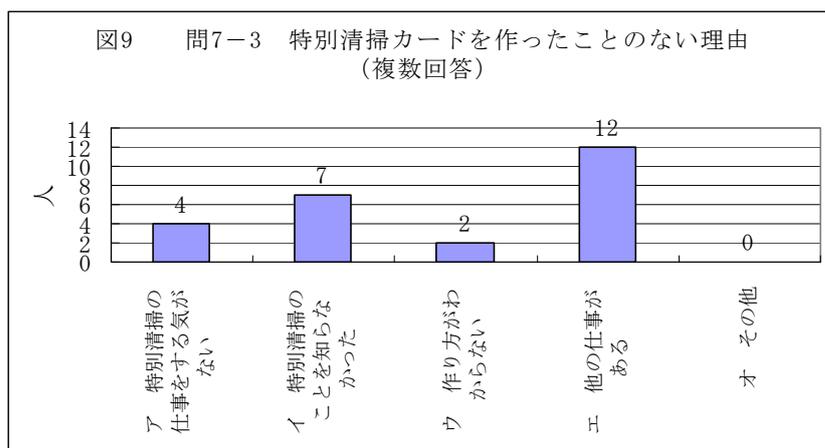
表 15 問 7-2 特別清掃カードを以前は持っていたが、今は持っていない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 特別清掃の仕事が向いていない	0	0.0
イ 他に仕事が見つかった	1	100.0
ウ 生活保護を受給	0	0.0
エ その他	0	0.0
有効回答数	1	100.0
有効回答者数	1	
不明	0	
非該当	59	
合計	61	

表 15 は、特別清掃カードを以前は持っていたが今は持っていないと回答した 1 人に対して、その理由を問うた結果を示したものである。これによると、「他に仕事が見つかった」という回答が得られたことがわかる。

表 16 問 7-3 特別清掃カードを作ったことのない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 特別清掃の仕事をする気がない	4	18.2
イ 特別清掃のことを知らなかった	7	31.8
ウ 作り方がわからない	2	9.1
エ 他の仕事がある	12	54.5
オ その他	0	0.0
有効回答数	25	113.6
有効回答者数	22	
不明	0	
非該当	39	
合計	61	



特別清掃カードを作ったことがないと回答した者に、その理由を複数回答で問うた結果を示したものが表 16、図 9 である。「他の仕事がある」と答えた者が 12 人 (54.5%) となっており、半数以上を占めている。また、「特別清掃のことを知らなかった」と回答した者は 7 人 (31.8%) と 3 割となっている。

表 17 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008 年 9 月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	6	10.2
1-5 日	0	0.0
6-10 日	13	22.0
11-15 日	20	33.9
16-20 日	10	16.9
21-25 日	8	13.6
26 日以上	2	3.4
有効回答者数	59	100.0
不明	2	
非該当	0	
合計	61	

図10 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか【2008年9月の現金と契約で仕事をした日の合計】

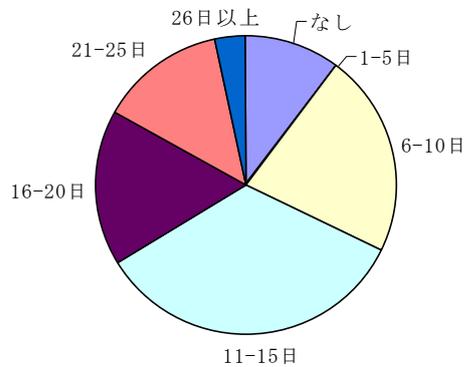


表 17、図 10 は、2008 年 9 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日を合計した結果を示したものである。これによると、「11-15 日」と回答した者が 20 人（33.9%）で最も多くなっている。また、「6-10 日」、「16-20 日」と回答した者は、それぞれ 13 人（22.0%）、10 人（16.9%）で一定数を占めている。

表 18 【2008 年 9 月の収入】

	人数	割合
1 万円未満	3	5.4
1-5 万円台	1	1.8
6-10 万円台	15	26.8
11-15 万円台	18	32.1
16-20 万円台	13	23.2
21-25 万円台	4	7.1
26-30 万円台	1	1.8
31 万円以上	1	1.8
有効回答者数	56	100.0
不明	5	
非該当	0	
合計	61	

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。

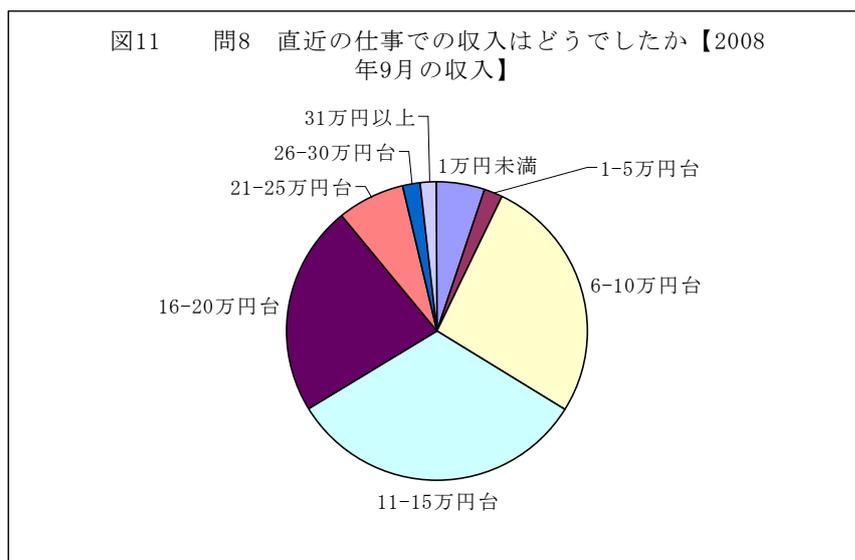


表 18、図 11 は、2008 年 9 月の仕事による収入額について聞いた結果を示したものである。最も多かったのは「11-15 万円台」と回答した者で 18 人（32.1%）と 3 割を超えている。次いで、「6-10 万円台」、「16-20 万円台」と回答した者が多く、それぞれ 15 人（26.8%）、13 人（23.2%）と 2 割を超えている。

表 19 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか  
【2008 年 10 月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	5	8.5
1-5 日	2	3.4
6-10 日	13	22.0
11-15 日	15	25.4
16-20 日	10	16.9
21-25 日	12	20.3
26 日以上	2	3.4
有効回答者数	59	100.0
不明	2	
非該当	0	
合計	61	

図12 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか【2008年10月の現金と契約で仕事をした日の合計】

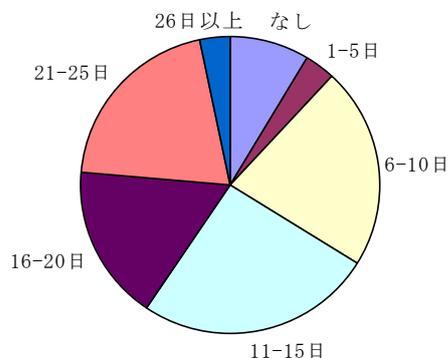


表 19、図 12 は、2008 年 9 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日を合計した結果を示したものである。これによると、相対的に多いものは「11-15 日」、「6-10 日」、「21-25 日」、「16-20 日」であり、それぞれ 15 人（25.4%）、13 人（22.0%）、12 人（20.3%）、10 人（16.9%）となっている。

表 20 【2008 年 10 月の収入】

	人数	割合
1 万円未満	3	5.3
1-5 万円台	5	8.8
6-10 万円台	14	24.6
11-15 万円台	13	22.8
16-20 万円台	15	26.3
21-25 万円台	5	8.8
26-30 万円台	1	1.8
31 万円以上	1	1.8
有効回答者数	57	100.0
不明	4	
非該当	0	
合計	61	

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。

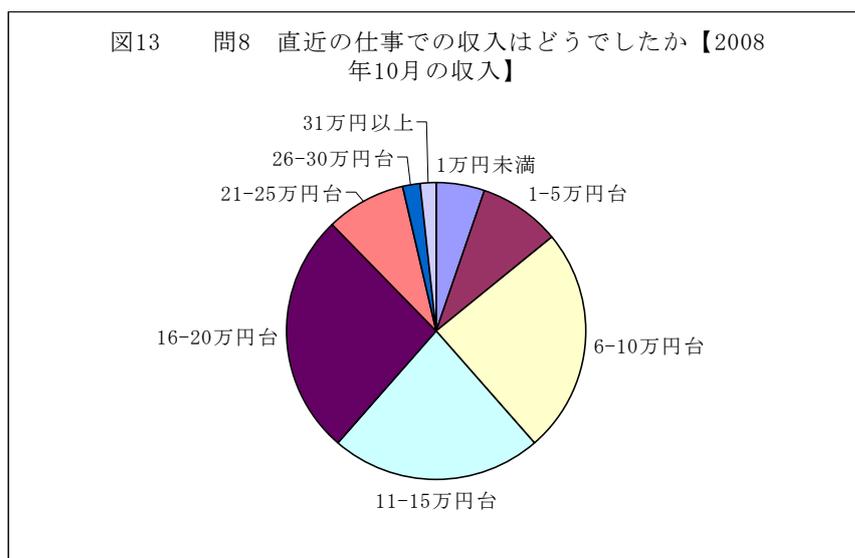


表 20、図 13 は、2008 年 10 月の仕事による収入額について聞いた結果を示したものである。これによると、相対的に多いものは「16-20 万円台」、「6-10 万円台」、「11-15 万円台」であり、それぞれ 15 人（26.3%）、14 人（24.6%）、13 人（22.8%）となっている。

表 21 問9 9月、10月に現金や契約で仕事をしていない理由は何ですか

	人数	割合
①仕事を探したが見つからなかった	0	0.0
②仕事を全く探していない	3	100.0
有効回答者数	3	100.0
不明	2	
非該当	56	
合計	61	

表 21 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていなかった者に対して、仕事を探したかどうかを質問した結果を示したものである。これによると、回答が「不明」だった 2 人を除いて 3 人は、全員が「仕事を全く探していない」と回答している。

表 22 問 9-1 その理由は何ですか(複数回答)

	人数	割合
①年齢で断られた(断られる)	0	0.0
②仕事が少ない	0	0.0
③健康に不安がある(高血圧等)	1	20.0
④体力に不安がある	1	20.0
⑤特別清掃しかできない	0	0.0
⑥自分の能力に合う仕事がない	0	0.0
⑦その他	4	80.0
有効回答数	6	120.0
有効回答者数	5	
不明	0	
非該当	56	
合計	61	

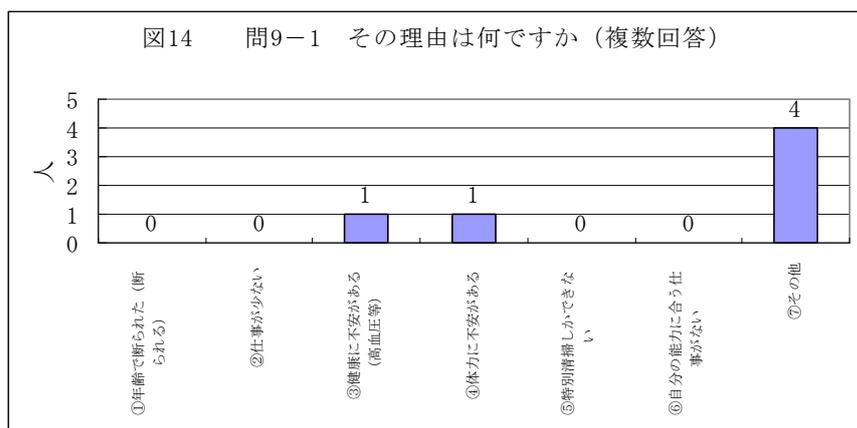
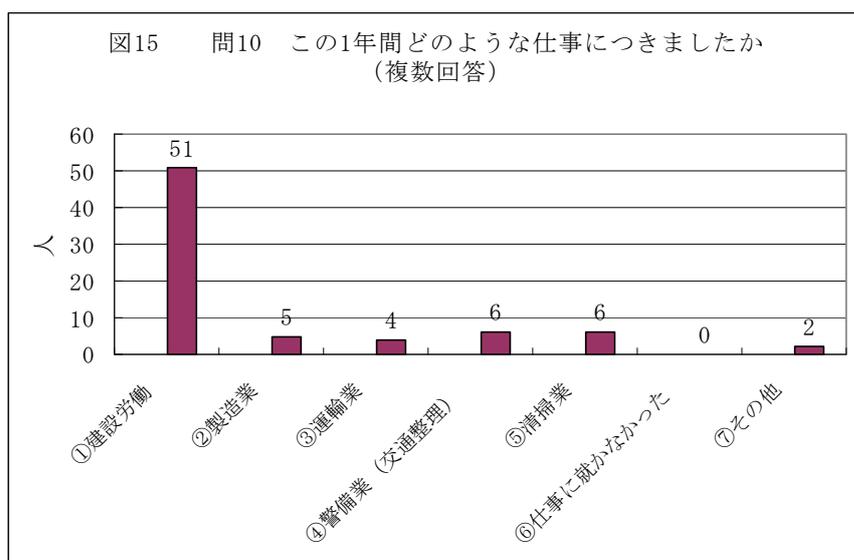


表 22、図 14 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていなかった者に対して、仕事を全く探していない理由を問うた結果を示したものである。これによると、「その他」が多くなっているが、その内訳をみると、多くは労働災害、入院などであり体調を崩していたことがうかがえる。

表 23 問 10 この1年間どのような仕事につきましたか  
(複数回答)

	人数	割合
①建設労働	51	83.6
土工	36	59.0
とび工	7	11.5
鉄筋工	6	9.8
型枠大工	1	1.6
解体工	13	21.3
職長	1	1.6
その他職人	3	4.9
不明	2	3.3
②製造業	5	8.2
③運輸業	4	6.6
④警備業(交通整理)	6	9.8
⑤清掃業	6	9.8
⑥仕事に就かなかった	0	0.0
⑦その他	2	3.3
有効回答数	143	234.4
有効回答者数	61	
不明	0	
合計	61	



この1年間にどのような仕事についてかを複数回答で聞いたところ、「建設労働」が51人（83.6%）で圧倒的多数を占めている（表23、図15）。「建設労働」の内訳について回答が得られたなかでは、「土工」と回答した者が最も多くなっている。

表24 問11 主にどこで仕事を探しますか

	人数	割合
①センターの寄場内	20	33.9
②センターの周辺路上(あいりん地域内)	8	13.6
③あいりん地域外	0	0.0
④特に決まっていない	9	15.3
⑤直接現場に行くので仕事を探す場所はない	22	37.3
有効回答者数	59	100.0
不明	2	
非該当	0	
合計	61	

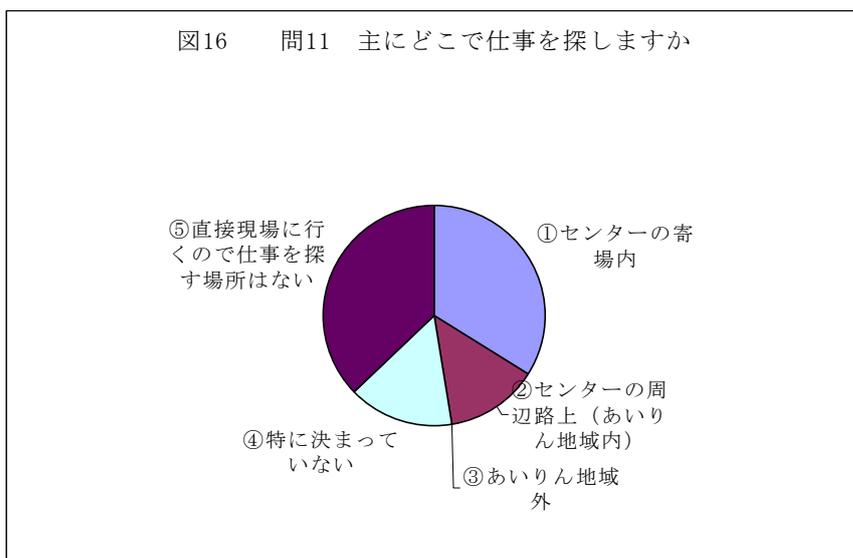


表24、図16は、主にどこで仕事を探しているかを聞いた結果を示したものである。「直接現場に行くので仕事を探す場所はない」と回答した者が最も多く、22人（37.3%）で3割5分を超えている。また、「センターの寄場内」と回答した者も同じ程度みられ、20人（33.9%）で3割を超えている。

表 25 問 11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか

	人数	割合
①なじみの業者がいる	16	59.3
②業者からその場所に来るよう指示がある	0	0.0
③業者からの声がかかりやすい	5	18.5
④仲間や知人がいる	3	11.1
⑤特に理由はない	3	11.1
⑥その他	0	0.0
有効回答者数	27	100.0
不明	1	
非該当	33	
合計	61	

図17 問11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか

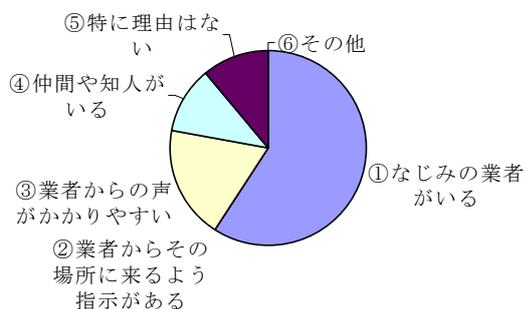


表 25、図 17 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、その場所を選んだ理由について聞いた結果を示したものである。「なじみの業者がいる」と回答した者が 16 人 (59.3%) と 6 割近くに達している。

表 26 問 11-2 その場所へは、定期的に行っていますか

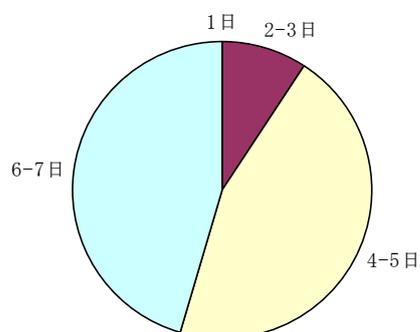
	人数	割合
①はい	23	82.1
②いいえ	5	17.9
有効回答者数	28	100.0
不明	0	
非該当	33	
合計	61	

表 26 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、そこへ定期的に行っているかどうかについてみたものである。「はい」と回答した者が 23 人（82.1%）と 8 割を超えている。

表 27 問 11-2① その場所へ定期的に行っている日数(1 週間に○日)

	人数	割合
1 日	0	0.0
2-3 日	2	9.1
4-5 日	10	45.5
6-7 日	10	45.5
有効回答者数	22	100.0
不明	1	
非該当	38	
合計	61	

図18 問11-2① その場所へ定期的に行っている日数  
(1週間に○日)



主に仕事を探す場所が決まっている者が、その場所へ定期的に行っている場合、その日数を聞いたところ、1週間あたり「4-5日」、「6-7日」と回答した者が、いずれも10人(45.5%)と4割5分を超えている(表27、図18)。

1週間のうちの4日以上、決まった場所へ行っている者が9割に上っていることがわかる。

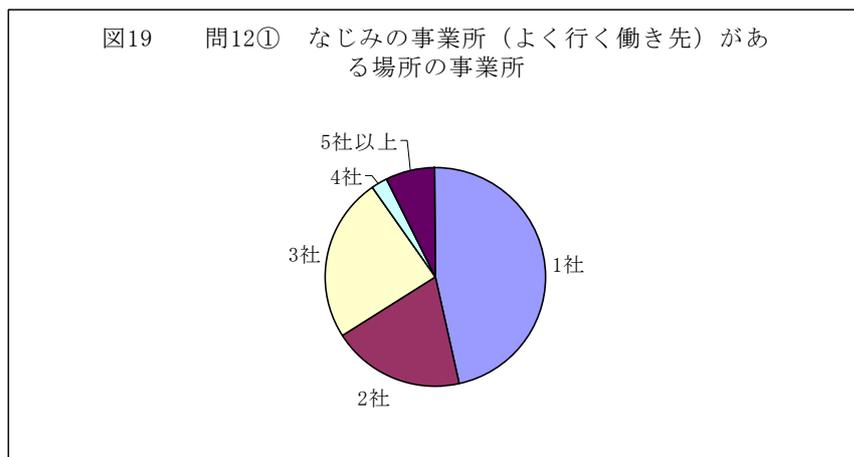
表28 問12 なじみの事業所(よく行く働き先)はありますか

	人数	割合
①ある	47	78.3
②ない	13	21.7
有効回答者数	60	100.0
不明	1	
非該当	0	
合計	61	

なじみの事業所の有無について聞いたところ、「ある」と回答した者が47人(78.3%)となっている(表28)。実に8割近くの者が、なじみの事業所(よく行く働き先)を有していることがわかる。

表 29 問 12① なじみの事業所(よく行く働き先)がある  
場合の事業所数

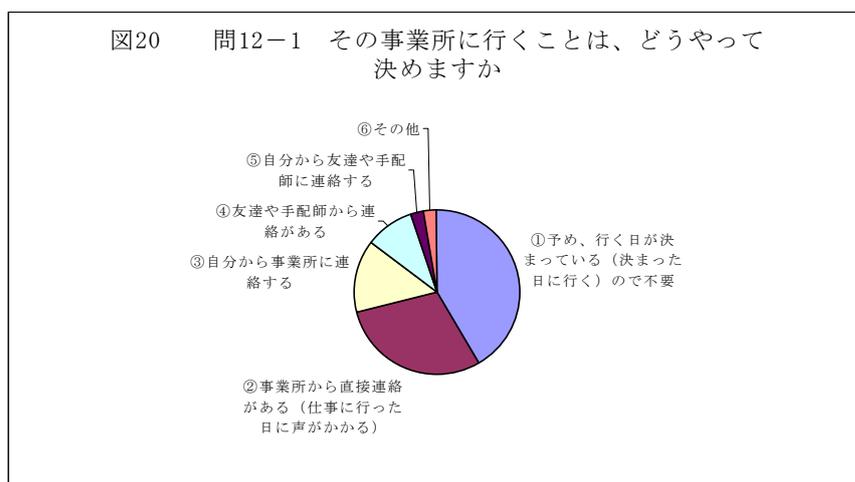
	人数	割合
1 社	19	46.3
2 社	8	19.5
3 社	10	24.4
4 社	1	2.4
5 社以上	3	7.3
有効回答者数	41	100.0
不明	6	
非該当	14	
合計	61	



なじみの事業所があると回答した者に、その数を聞いたところ「1社」と回答した者が最も多く19人(46.3%)で突出して多い。また、「3社」と回答した者が10人で2割5分近くに上っている。なじみの事業所が1~3社であるという者が、9割を超えている。

表 30 問 12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか

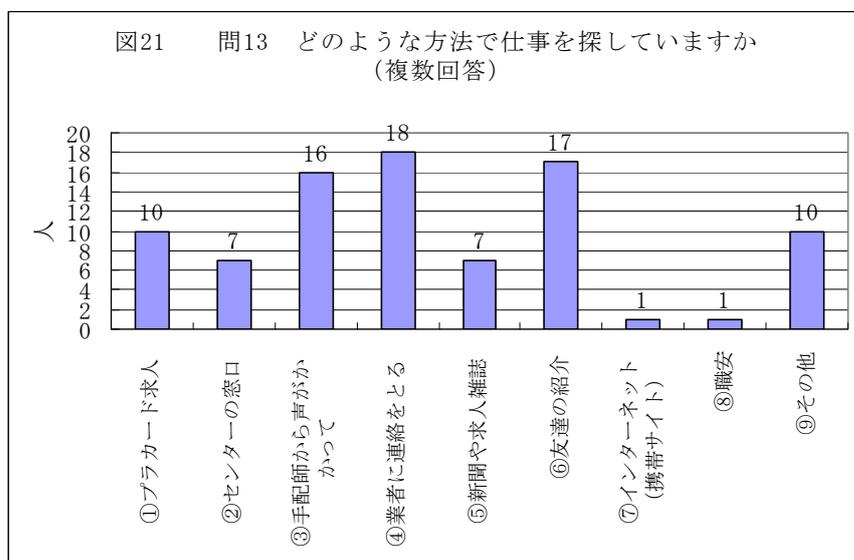
	人数	割合
①予め、行く日が決まっている(決まった日に行く)ので不要	17	41.5
②事業所から直接連絡がある(仕事に行った日に声がかかる)	12	29.3
③自分から事業所に連絡する	6	14.6
④友達や手配師から連絡がある	4	9.8
⑤自分から友達や手配師に連絡する	1	2.4
⑥その他	1	2.4
有効回答者数	41	100.0
不明	6	
非該当	14	
合計	61	



さらに、その事業所に行くことはどうやって決めるかを聞いたところ、「予め、行く日が決まっている(決まった日に行く)ので不要」と回答した者が最も多く、17人(41.5%)で4割を超えている。次に多かったのが、「事業所から直接連絡がある(仕事に行った日に声がかかる)」と回答した者で12人(29.3%)と約3割を占めている(表30、図20)。

表 31 問 13 どのような方法で仕事を探していますか  
(複数回答)

	人数	割合
①プラカード求人	10	18.2
②センターの窓口	7	12.7
③手配師から声がかかって	16	29.1
④業者に連絡をとる	18	32.7
⑤新聞や求人雑誌	7	12.7
⑥友達の紹介	17	30.9
⑦インターネット(携帯サイト)	1	1.8
⑧職安	1	1.8
⑨その他	10	18.2
有効回答数	87	158.2
有効回答者数	55	
不明	6	
合計	61	



どのような方法で仕事を探しているかを複数回答で聞いたところ、相対的に多かったのは、「業者に連絡をとる」、「友達の紹介」、「手配師から声がかかって」と回答した者で、それぞれ、18人(32.7%)、17人(30.9%)、16人(29.1%)と約3割に上っている。

表 32 問 14 携帯電話で仕事探しをしたり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがありますか

	人数	割合
①ある	20	32.8
②ない(携帯電話を持っていない)	41	67.2
有効回答者数	61	100.0
不明	0	
合計	61	

表 32 は、携帯電話で仕事を探したり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがあるかどうかを聞いた結果を示したものである。「ある」と回答した者が 20 人 (32.8%)、「ない (携帯電話を持っていない)」と回答した者が 41 人 (67.2%) となっており、携帯電話を有していない者は 6 割 5 分を超えていることがわかる。

表 33 問 15 仕事を探す時プラカードを参考にしますか？

	人数	割合
①参考にしている	20	36.4
②参考にしていない	10	18.2
③自分にとっては関係ない	19	34.5
④プラカードが何かわからない	6	10.9
有効回答者数	55	100.0
不明	6	
合計	61	

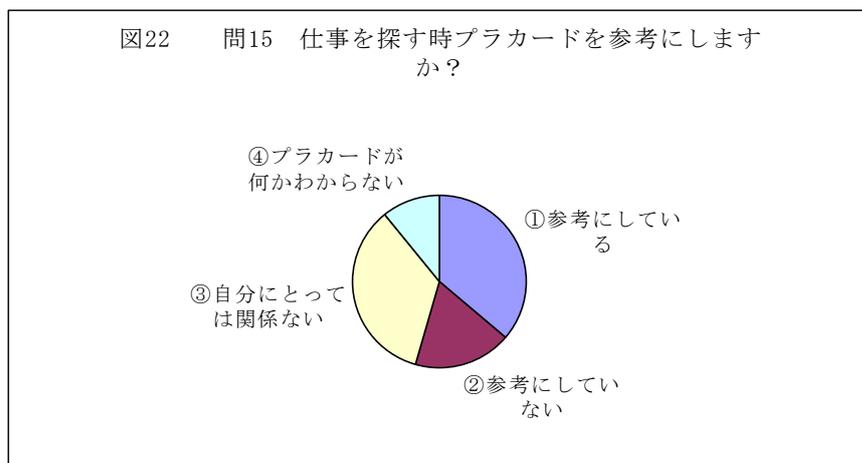
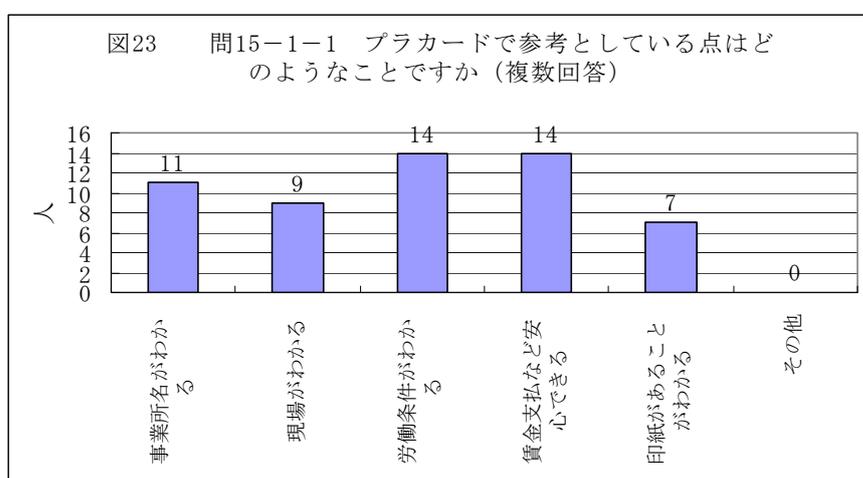


表 33、図 22 は、仕事を探す時に、プラカードを参考にするかどうかを聞いた結果を示

したものである。「参考にしている」と回答した者が最も多く 20 人 (36.4%) と 3 割 5 分を超えているが、一方で「自分にとっては関係ない」と回答した者も 19 人 (34.5%) で同じくらいみられる。

表 34 問 15-1-1 プラカードで参考としている点はどのようなことですか？(複数回答)

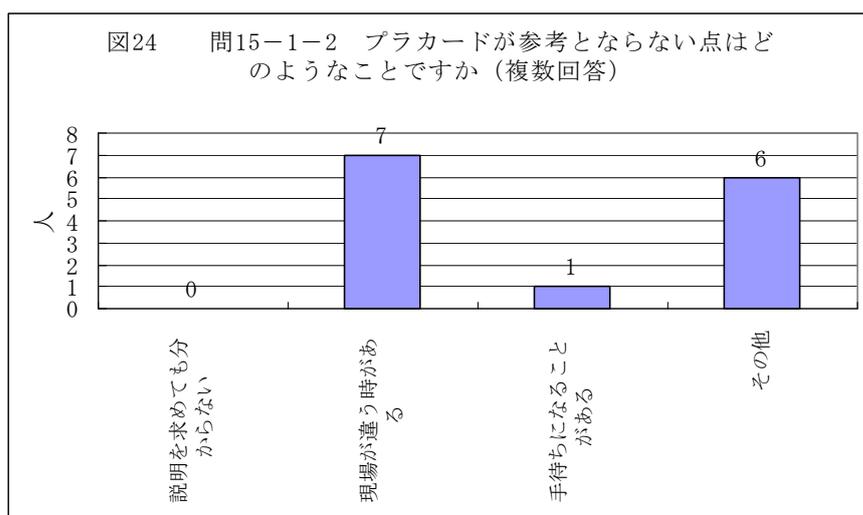
	人数	割合
事業所名がわかる	11	55.0
現場がわかる	9	45.0
労働条件がわかる	14	70.0
賃金支払など安心できる	14	70.0
印紙があることがわかる	7	35.0
その他	0	0.0
有効回答数	55	275.0
有効回答者数	20	
不明	0	
非該当	41	
合計	61	



仕事を探す時に、プラカードを参考にしてしている者に対して、プラカードで参考にしていない点はどのようなことかを、複数回答で聞いた結果を示したのが表 34、図 23 である。回答者が多かったのは、「労働条件がわかる」、「賃金支払など安心できる」で、いずれも 14 人 (70.0%) と 7 割に上っている。また、「事業所名がわかる」と回答した者も 11 人 (55.0%) で半数を超えている。

表 35 問 15-1-2 プラカードが参考とならない点はどのようなことですか？(複数回答)

	人数	割合
説明を求めても分からない	0	0.0
現場が違う時がある	7	50.0
手待ちになることがある	1	7.1
その他	6	42.9
有効回答数	14	100.0
有効回答者数	14	
不明	16	
非該当	31	
合計	61	



仕事を探す時に、プラカードを参考に行っている者と、参考に行っていない者に対して、プラカードが参考とならない点はどのようなことかを聞いた結果を示したのが表 35、図 24 である。最も多かったのが「現場が違う時がある」と回答した者で、7人(50.0%)と半数を占めている。

表 36 問 16 西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っていますか

	人数	割合
①知っている	39	65.0
②知らない	21	35.0
有効回答者数	60	100.0
不明	1	
合計	61	

表 36 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っているかどうかを聞いた結果を示したものである。「知っている」と回答した者が 39 人（65.0%）と 6 割 5 分を占めている。

表 37 問 16-1 窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか（複数回答）

	人数	割合
①抽選紹介ではなく技能に応じた紹介にしてほしい	12	31.6
②紹介の時間帯を変えてほしい	5	13.2
③仕事の内容をもっと詳しく説明してほしい	13	34.2
④宿舎（寄宿舍）の状況をもっと詳しく教えてほしい	10	26.3
⑤携帯電話で求人内容を見れるようにしてほしい	6	15.8
⑥その他	5	13.2
⑦特にない	9	23.7
有効回答数	60	157.9
有効回答者数	38	
不明	1	
非該当	22	
合計	61	

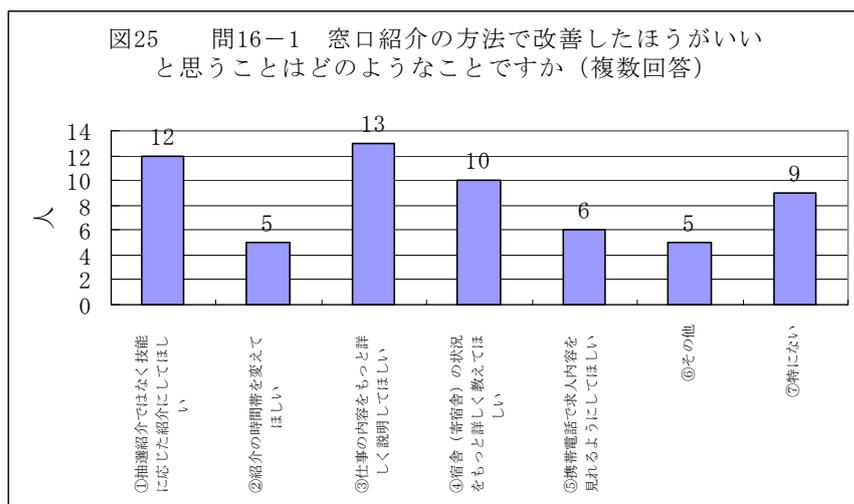
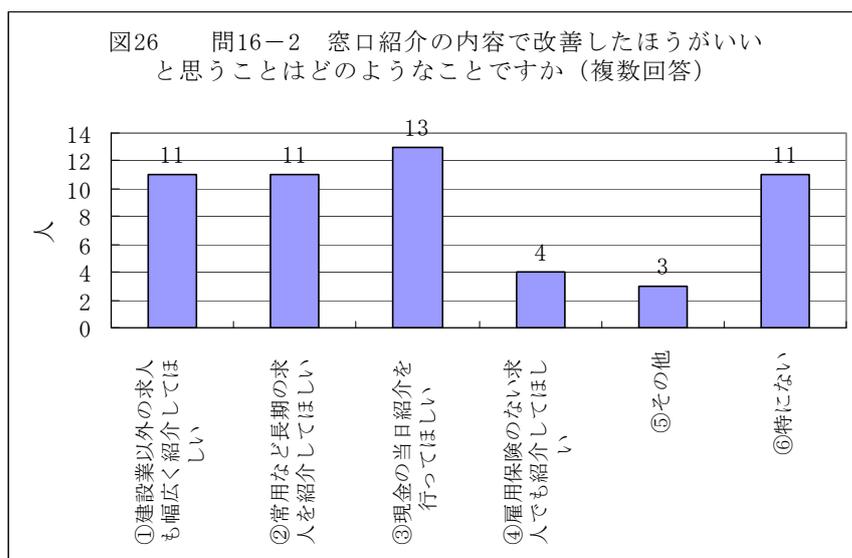


表 37、図 25 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っている者に対して、窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いた結果を示したものである。「仕事の内容をもっと詳しく説明してほしい」と回答した者が 13 人（34.2%）で最も多くなっている。また、「抽選紹介ではなく技能に応じた紹介にしてほしい」と回答した者も 12 人（31.6%）と同程度に上っている。続いて多いのが「宿舎（寄宿舎）の状況をもっと詳しく教えてほしい」と回答した者で、10 人（26.3%）で 4 分の 1 強を占めている。

表 38 問16-2 窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか（複数回答）

	人数	割合
①建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい	11	28.2
②常用など長期の求人を紹介してほしい	11	28.2
③現金の当日紹介を行ってほしい	13	33.3
④雇用保険のない求人でも紹介してほしい	4	10.3
⑤その他	3	7.7
⑥特にない	11	28.2
有効回答数	53	135.9
有効回答者数	39	
不明	0	
非該当	22	
合計	61	



さらに、窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いたところ、「現金の当日紹介を行ってほしい」と回答した者が13人（33.3%）で3割を超えて最も多くなっている。次に多いのは、「建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい」、「常用など長期の求人を紹介してほしい」、「特にない」で、いずれも11人（28.2%）と3割近くに上っている。

表39 問17 西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う（週1日以上）施設は、どこですか（複数回答）

	人数	割合
①あいりん職安	11	20.0
②玉出社会保険事務所の窓口	2	3.6
③食堂、売店	19	34.5
④理髪店	0	0.0
⑤ロッカールーム	0	0.0
⑥シャワールーム	2	3.6
⑦その他	3	5.5
⑧特にない	24	43.6
有効回答数	61	110.9
有効回答者数	55	
不明	6	
合計	61	

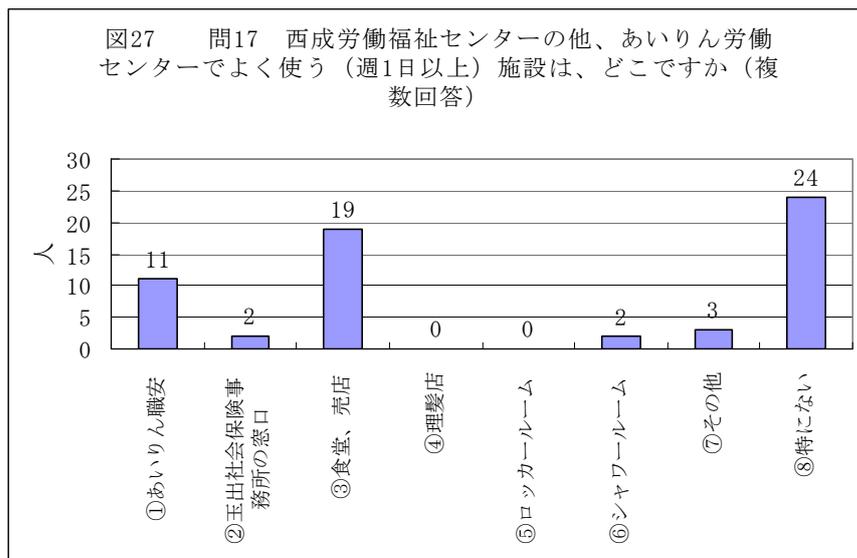
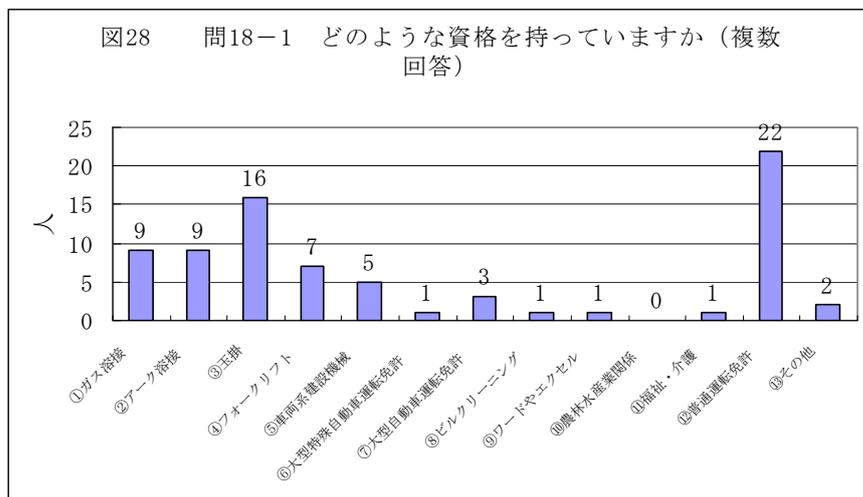


表 39、図 27 は、西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う（週 1 日以上）施設はどこかを、複数回答で聞いた結果を示したものである。「特にない」と回答した者が 24 人（43.6%）で 4 割を超えており、最も多くなっている。次に多かったのが「食堂、売店」であり、19 人（34.5%）となっている。

表 40 問 18-1 どのような資格を持っていますか(複数回答)

	人数	割合
①ガス溶接	9	25.0
②アーク溶接	9	25.0
③玉掛	16	44.4
④フォークリフト	7	19.4
⑤車両系建設機械	5	13.9
⑥大型特殊自動車運転免許	1	2.8
⑦大型自動車運転免許	3	8.3
⑧ビルクリーニング	1	2.8
⑨ワードやエクセル	1	2.8
⑩農林水産業関係	0	0.0
⑪福祉・介護	1	2.8
⑫普通運転免許	22	61.1
⑬その他	2	5.6
有効回答数	77	213.9
有効回答者数	36	
不明・無回答	25	
合計	61	

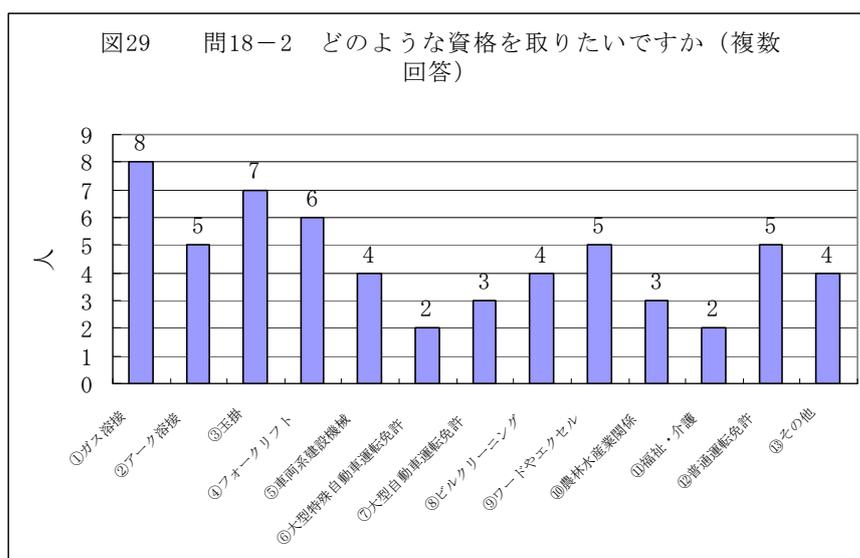


どのような資格を持っているのかを複数回答で聞いた結果を示したのが表 40、図 28 である。相対的に多いものは、「普通運転免許」、「玉掛」と回答した者で、それぞれ 22 人 (61.1%)、16 人 (44.4%) になっている。また、「ガス溶接」、「アーク溶接」と回答した者はいずれも 9 人 (25.0%) みられ、それぞれ 4 分の 1 を占めていることがわかる。

一方、資格を有している者が少なかった項目は「大型特殊自動車運転免許」、「ビルクリーニング」、「ワードやエクセル」、「農林水産業関係」、「福祉・介護」である。

表 41 問 18-2 どのような資格を取りたいですか(複数回答)

	人数	割合
①ガス溶接	8	36.4
②アーク溶接	5	22.7
③玉掛	7	31.8
④フォークリフト	6	27.3
⑤車両系建設機械	4	18.2
⑥大型特殊自動車運転免許	2	9.1
⑦大型自動車運転免許	3	13.6
⑧ビルクリーニング	4	18.2
⑨ワードやエクセル	5	22.7
⑩農林水産業関係	3	13.6
⑪福祉・介護	2	9.1
⑫普通運転免許	5	22.7
⑬その他	4	18.2
有効回答数	58	263.6
有効回答者数	22	
不明・無回答	39	
合計	61	

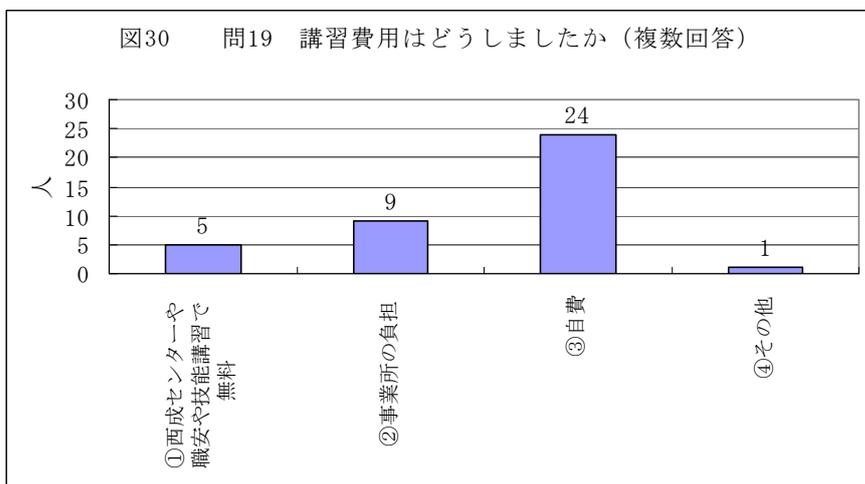


次に、どのような資格を取りたいかについて質問した結果を示したのが表 41、図 29 である。相対的に多かったのは「ガス溶接」、「玉掛」、「フォークリフト」、「アーク溶接」、「ワードやエクセル」、「普通運転免許」で、それぞれ 8 人 (36.4%)、7 人 (31.8%)、6 人 (27.3%)、5 人 (22.7%)、5 人 (22.7%)、5 人 (22.7%) となっている。

先にすでに資格を持っていると回答した者の少なかった項目である、「大型特殊自動車運転免許」、「ビルクリーニング」、「ワードやエクセル」、「農林水産業関係」、「福祉・介護」についても、項目によっては 2 割以上の者が資格を取りたいと回答している点は注目に値する。

表 42 問 19 講習費用はどうしましたか(複数回答)

	人数	割合
①西成センターや職安や技能講習で無料	5	13.2
②事業所の負担	9	23.7
③自費	24	63.2
④その他	1	2.6
有効回答数	39	102.6
有効回答者数	38	
不明・非該当	23	
合計	61	



前問で何らかの資格を取得していると回答した者に対して、その講習費用をどうしたのかについて複数回答で聞いた結果を示したのが表 42、図 30 である。「自費」が 24 人 (63.2%) と 6 割を超えて最も多くなっている。

表 43 問 20 会社勤めなど常用の仕事を希望していますか

	人数	割合
①希望している	36	60.0
②希望していない	24	40.0
有効回答者数	60	100.0
不明	1	
合計	61	

表 43 は、会社勤めなど常用の仕事を希望しているかどうかについてみたものである。「希望している」と回答した者が 36 人（60.0%）と 6 割に上っている。一方、「希望していない」と回答した者は 24 人（40.0%）と 4 割を占めている。

表 44 問 20-1 希望する職種は何ですか  
（複数回答）

	人数	割合
①建設業	20	55.6
②製造業	10	27.8
③運輸業	5	13.9
④清掃業	3	8.3
⑤警備業	0	0.0
⑥農林漁業	2	5.6
⑦事務	2	5.6
⑧その他	8	22.2
有効回答数	50	138.9
有効回答者数	36	
不明	0	
非該当	25	
合計	61	

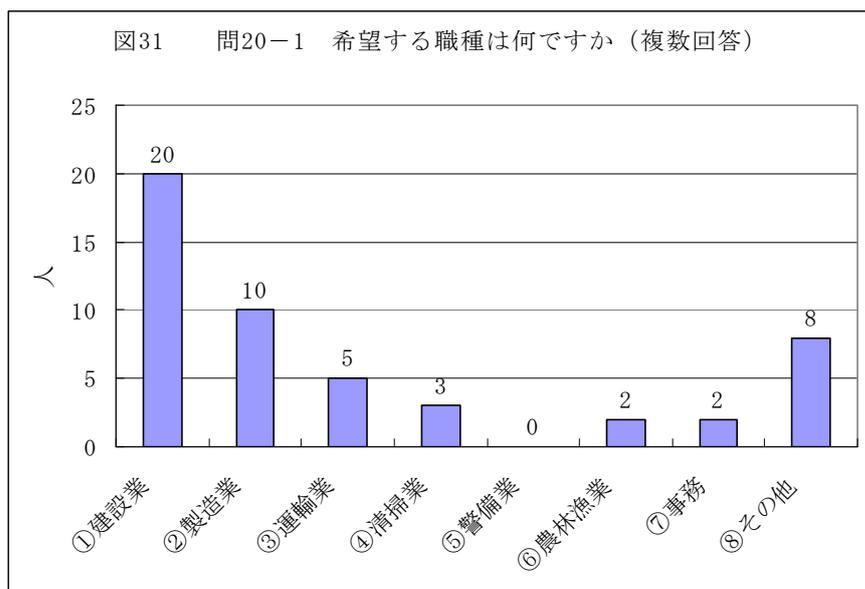


表 44、図 31 は、会社勤めなど常用の仕事を希望していると回答した者に対して、希望する職種を複数回答で聞いた結果を示したものである。「建設業」と回答した者が最も多く 20 人 (55.6%) で 5 割 5 分を超えている。次に多かったのは、「製造業」で 10 人 (27.8%) と 3 割弱を占めている。

表 45 問 20-2 常用就職するために、どのような手助けがほしいでしょうか(複数回答)

	人数	割合
①技能講習	10	28.6
②現場実習訓練	5	14.3
③教養講座	4	11.4
④求人情報の提供	12	34.3
⑤自分に向けた就職のあっせん	18	51.4
⑥適性相談(キャリアカウンセリング)	7	20.0
⑦就職活動のノウハウの提供(履歴書の書き方や面接への対応方法など)	5	14.3
⑧当座の生活資金の援助	16	45.7
⑨住宅借上げの支援(保証人)	13	37.1
⑩就職に当たっての身元保証	15	42.9
⑪就職後の相談支援	4	11.4
⑫その他	3	8.6
有効回答数	112	320.0
有効回答者数	35	
不明	1	
非該当	25	
合計	61	

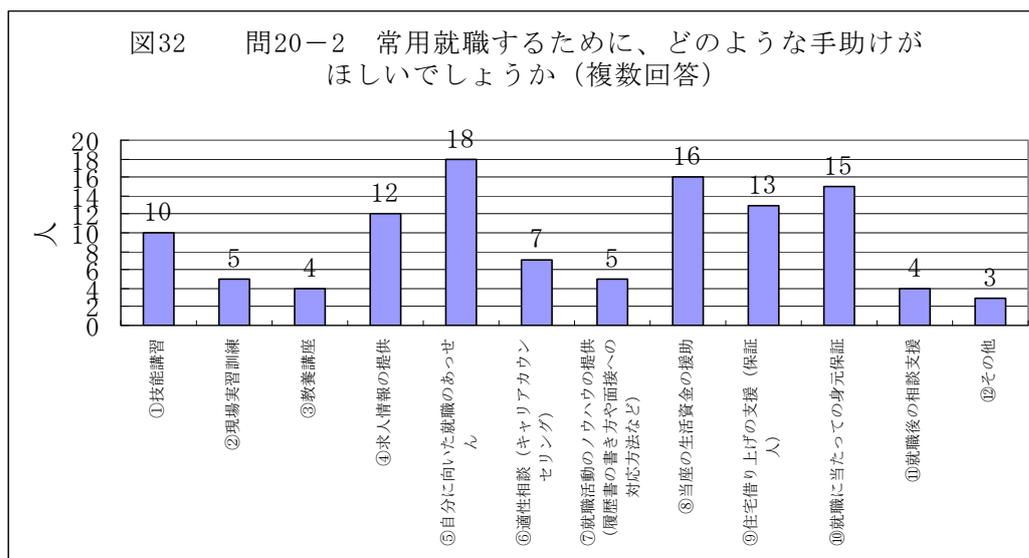
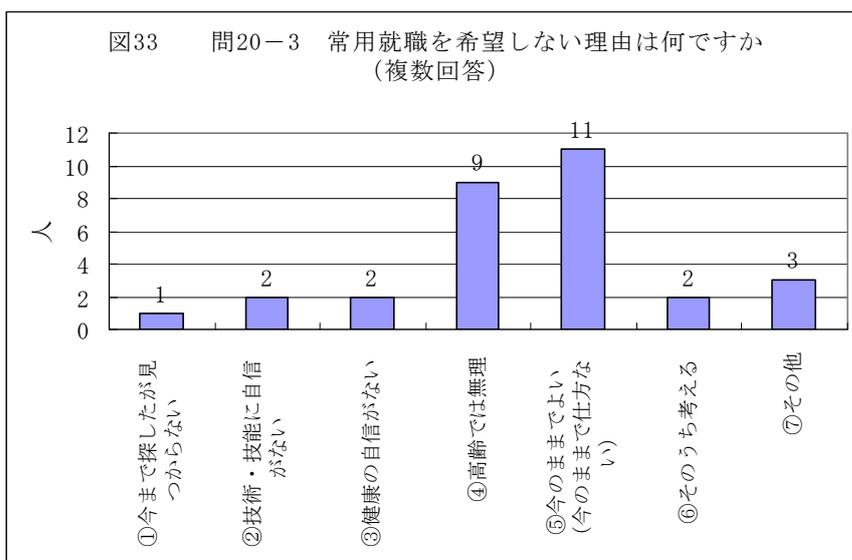


表 45、図 32 は、会社勤めなど常用の仕事我希望すると回答した者に対して、常用就職

するために、どのような手助けがほしいかを複数回答で聞いた結果を示したものである。最も多かったのが「自分に向けた就職のあっせん」で 18 人（51.4%）と半数を超えている。また、「当座の生活資金の援助」、「就職に当たっての身元保証」、「住宅借り上げの支援（保証人）」、「求人情報の提供」、「技能講習」と回答した者も一定数を占めており、それぞれ 16 人（45.7%）、15 人（42.9%）、13 人（37.1%）、12 人（34.3%）、10 人（28.6%）となっている。

表 46 問 20-3 常用就職を希望しない理由は何ですか  
（複数回答）

	人数	割合
①今まで探したが見つからない	1	4.3
②技術・技能に自信がない	2	8.7
③健康の自信がない	2	8.7
④高齢では無理	9	39.1
⑤今のままでよい(今のままで仕方ない)	11	47.8
⑥そのうち考える	2	8.7
⑦その他	3	13.0
有効回答数	30	130.4
有効回答者数	23	
不明	1	
非該当	37	
合計	61	



会社勤めなど常用の仕事を希望しないと回答した者に対して、常用就職を希望しない理由を複数回答で聞いた結果を示したのが、表 46、図 33 である。「今のままでよい（今のままで仕方ない）」、「高齢では無理」と回答した者が多く、それぞれ 11 人（47.8%）、9 人（39.1%）といずれも一定数を占めている。